



ソウルの風

ソウル日本人学校
26年度派遣
竹本晴哉

ソウル日本人学校は…

開発地区の中にある学校

ソウル日本人学校は、4年前に校舎を移転しました。現在学校があるところは、通称デジタルメディアシティと呼ばれるところにあり、多くのテレビ局やラジオ局などが近くにありますが、日本のお台場のようなところで、週末には観光客も訪れにぎわっています。そのため、学校前の公園や道路では、よくドラマの撮影を行っています。また、近くには、日韓共催FIFAワールドカップの時に建てられたワールドカップ競技場もあり、KリーグのFCソウルの本拠地として試合が行われています。

園児から中学生までが通う学校

ソウル日本人学校には、幼稚園部、小学部及び中学部があります。これは、世界中にある日本人学校の中でも珍しく、この学校の大きな特色でもあります。幼稚園部から中学部までの縦割り班活動があります。また、運動会も合同で行います。小学部と中学部の合同委員会や中学部生徒の保育体験、小学部児童が毎週幼稚園部へ読み聞かせに行くなど、他学部との交流が様々な形で行われています。在籍園児、児童、生徒数は、10月1日現在455人です。

近代的な校舎

校舎は外観も中の施設もとても近代的な造りをしています。プールは室内にあり、床を自動で上下移動させて深さを自由に調節させることができるので、園児から中学生までが使用することができます。また、教室や廊下など、至る所にエアコンが完備されており、夏でも快適に過ごすことができます。

こんな勉強しています

私の担任している4年松組の時間割を紹介します。文科省の学習指導要領に則って教育課程が編成されているため、基本的には日本の学校とほぼ同様ですが、1年生から英会話と韓国語の授業があることがこの学校の特色です。母親が韓国人の子や韓国での生活が長い子、または、塾に通って韓国語を習っている子などもあるので、韓国語を話したり聞き取ったりする能力にはかなり個人差があります。したがって、韓国語の授業は、レベルに応じて、初級、中級、上級の3つのクラスに分かれて行っています。ちなみに、1単位時間の授業時間は、中学生に揃えているため全て50分です。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	学活	国語	体育	算数	理科
2	国語	算数	理科	社会	体育
3	国語	音楽	総合	書写	国語
4	算数	社会	英会話	韓国語	算数
5	体育	理科	図工	国語	音楽
6	クラブ	道徳	図工	総合	算数



ソウル日本人学校



多くのテレビ局



ワールドカップ競技場

運動会風景



現地の小学校は・・・

ICT化の進む教育現場

1学期に、日本人学校から一番近いところにある現地の小学校に視察に行ってきました。全校児童900人ほどの小学校で、1学年5～6クラスありました。全ての教室の前面黒板の上には、韓国の国旗が掲げられているのが印象的でした。たくさん授業の様子を見せてもらいましたが、先生が黒板に何かを書いたり、または、児童が板書をノートに写したりするような、日本では一般的に行われている学習風景は全く見られませんでした。ここが日本の学校との一番の違いだと感じました。代わりに、黒板の中央にある大きなTV画面にパソコンの映像を映しながら授業をしているクラスがたくさんありました。後で伺うと、授業のプログラムがパソコンに準備されているそうです。教育現場のICT化が進んでいることを実感しました。

給食にもキムチ!

給食の様子も見せていただきました。給食は、ランチルームで食べます。ただし全校一斉には入れないので、学年によって時間差でランチルームにやって来て食べていました。給食当番などはなく、一人一人がプレートを持って並び、調理員さんにご飯やおかずを入れてもらっていました。この日のメニューは、「ご飯、かに汁、ニラチヂミ、青菜のキムチ、みかん」でした。給食にもやはりキムチは欠かせないようです。試食させていただきましたが、とてもおいしかったです。この日は、チヂミにキムチと日本でも有名な韓国料理でしたが、他にはどんなメニューがあるのかなあと興味を抱いて帰りました。



ソウルの町は・・・

健康志向な国民?

ソウルの町を歩いているとよく目にするのが運動器具です。公園や広場、道路の脇などに様々な運動器具が設置されています。朝、昼、晩と、特にご年配の方がよく利用しています。ウォーキングやジョギングをしている人もたくさん見かけます。また、日本もそうですが、韓国はそれ以上に登山ブームのようです。地下鉄の駅や町には登山の格好をした人をたくさん見かけます。スーパーやデパートなどにも登山用品がたくさん売られています。そんな健康志向の韓国人と思いきや、反対に、幼児から小学生ぐらいの子供たちが、9時や10時の夜遅くまで外で遊んでいる姿を日常的に見かけます。「一体何時に寝ているのだろう」「睡眠時間は気にしないのかなあ」などと心配をしてしまうほどです。



町には日本語がたくさん!

電車や大きなスーパーなどでは、日本語のアナウンスを耳にすることがあります。それだけ、日本人の観光客や生活している人がたくさんいるのだなあということを実感します。また、町の至る所に日本語で書かれた店名の飲食店を見かけます。「居酒屋」という看板もよく見かけますが、中に入ってみると辛そうなメニュー中心で、日本の居酒屋とは少々違うようです。



町中にある焼肉屋さん!

「焼き肉の本場、韓国」という認識はしていましたが、実際に生活してみると、想像以上に焼肉屋が多いです。そこら中にあるイメージです。肉は、基本的に豚肉が中心です。サンチュなどに巻いて食べるので野菜もたくさん摂ることができます。こちらに来て、私も焼き肉を食べる機会が随分増えました。焼肉大国を堪能しています。しかしながら、日本の焼き肉が恋しい今日この頃です。

今回お伝えできなかった韓国・ソウルの生活事情やソウル日本人学校の様子について、また次回報告したいと思います。それでは、今回はこれで失礼します。「안녕하세요 (アンニョンハセヨ)」